

●ウォーターハンマ軽減

独立式スプリング機構が流体の逆流直前に急閉、ウォーターハンマ発生を軽減する衝撃吸収式逆止め弁で、ポンプなどの配管装置を保護します。

●バイパス回路内蔵

薄型ボデーでありながらバイパス回路を内蔵、配管設計・施工が大幅に合理化されます。

●ポンプ直付け可能

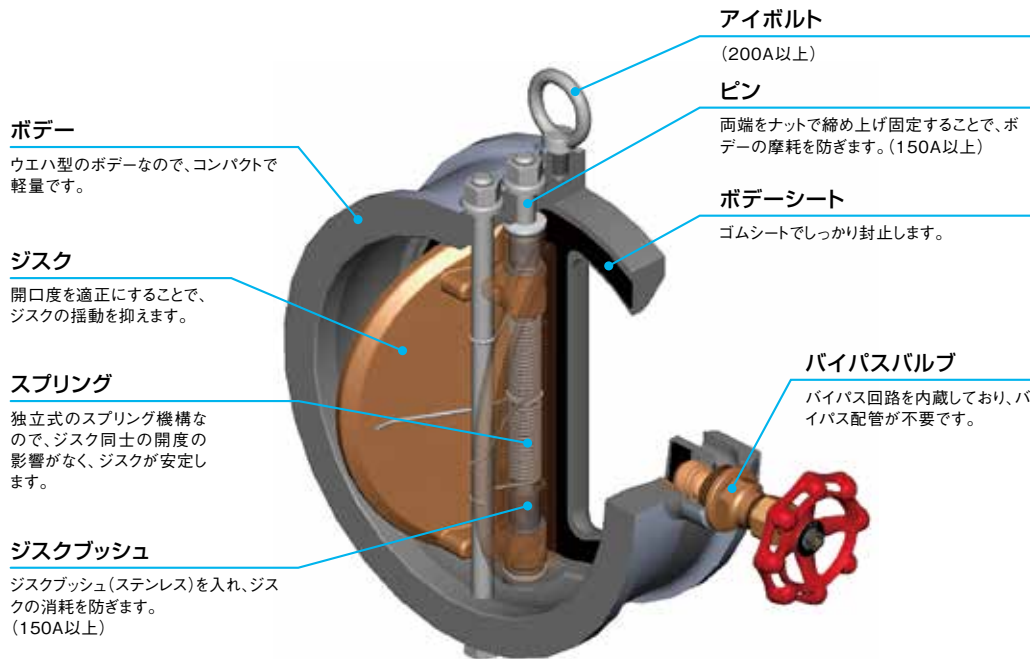
ジスクの開口度を適正にして、ジスクのピン挿入部・ピンの固定方法を変更し耐久性を向上させることで、ポンプ直付けが可能になりました。

●優れた封止性能

ゴムシート（標準:NBR）とスプリング機構で、従来のチャッキバルブにみられない優れた封止性を発揮します。

●取扱いしやすいウエハタイプ

薄型・軽量なため、取付けスペースが小さく、取り付け作業も合理的に行えます。



●ウエハチャッキバルブは、官公庁設備工事仕様書に指定される衝撃吸収式逆止め弁です。

- 官公庁設備工事仕様書に、揚水ポンプや空調用ポンプに付属する逆止め弁は、「バイパス弁付きで、全揚程が30mを超える場合は衝撃吸収式とする」と指定されています。
- 使用条件に合ったスプリングの選定を行って下さい。範囲外でのご使用は振動音の原因となる場合がございます。

《 流れ方向の限定 》

- ウエハチャッキバルブは、流体の流れ方向とバルブの設置方向が限定されます。配管の際には、バルブ本体の矢印方向と流体の流れ方向が一致するよう設置してください。
- 垂直配管にも使用頂けますが、流れ方向が上向きの配管ラインに限定されます。

《 スプリングの選定 》

- 使用条件にあったスプリングの選定を行ってください。使用範囲外でのご使用は、故障や振動音の原因となる場合があります。
- バルブ作動時に、ジスクの開閉音やバタツキが発生する場合は、流量の調整やスプリング強度を変えることが必要です。
- バルブ内の流速は、水の場合で4.0m/s (11fps) 以下に設定して、ご使用ください。

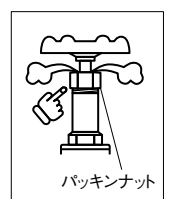
《 配管接続上のご注意 》

- 管とフランジの接続溶接は、図①の方法で行ってください。
- ウエハチャッキバルブの作動は、全開時にジスクの一部が本体面間より外に出ます。ジスクが

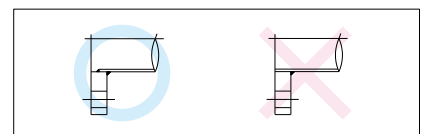
管の先端やガスケットに接触しないよう配管してください。

- ウエハタイプのバタフライバルブなど、ジスクが面間より外に出る構造のものとは直結できません。
- デュアルプレート形の製品を水平配管に接続する場合には、バイパスバルブが水平の位置になるように設置してください。水平位置以外ですと、ジスクが重力の影響で全閉にならない場合があります。(図②参照)
- 配管時にバルブをチェーンブロック等で吊す場合、必ずアイボルト(200A以上のバルブに装着)を使用してください。
- アイボルトの取付ねじは、バルブ本体の上下にあります。流れの方向に対し、バイパスバルブの方向を振り変えたい場合には、アイボルトを反対側に取り付けて、吊り上げてください。
- 配管作業時にバイパスバルブのハンドルにフックを掛けたり、足場に使用しないでください。
- バルブの運搬・保管中に、パッキンの性質上発生する応力緩和により、締付け圧力が低下する場合があります。使用前に必ずバイパスバルブのパッキンナットの増締めを行ってください。また、使用中漏れが続くと漏れ筋が発生して、増

締めしても漏れがとまらない場合があります。日常点検を行い、早期に増締めを実施してください。



図①フランジの接続溶接



図②水平配管でのバルブ取付姿勢

